

単元名	「体づくり運動」(体の動きを高める運動) たのみん ミライ プロジェクト! ～運動が苦手な子ファーストに挑戦だ!～
学校・学級	三原市立田野浦小学校 第6学年

1 要 旨

(1) 児童の実態

本学級の児童は、体を動かすことが好きな児童と、苦手な児童の二極化にある。体を動かすことが好きな児童は、休憩時間にグラウンドで走り回り、放課後も含めると一日2時間以上は外遊びを行っている。また、地域のスポーツクラブにも所属し、活躍している児童も多い。一方、運動が苦手な児童は、休憩時間に教室内で静かに読書をして過ごすことが多い。放課後に外遊びを行うことも少なく、体を動かすことが好きな児童と比べると、体を動かす機会が少ない。

運動への意識や知識・技能に関する実態調査の結果は以下のとおりである。

運動への意識に関する実態調査結果

項目	肯定的回答(人)	主な理由
体育の授業は好きですか。	25 / 30	体を動かすことが楽しいから。 挑戦したり、協力したりできるから。 友達と同じ動きができず、恥ずかしいから。
友達と運動することは好きですか。	23 / 30	一人で運動するより楽しく、一緒に喜べるから。 失敗して、友達に迷惑をかけてしまうから。

運動の知識・運動に関する実態調査結果

項目	規準到達児(人)	規準に到達できなかった児童の様子
長座の姿勢で上体を曲げ、体の周りでボールを転がすことができる。	19 / 30	上体を深く曲げることができず、ボールを転がす時に、膝が曲がる。
友達とタイミングを合わせて動いたり、バランスよく動いたりすることができる。	20 / 30	友達と呼吸を合わせて、同じように動けない。

(2) 指導上の留意点

学習形態・かかわり合い、場・教具の工夫

児童同士で体の動かし方のポイントや、視点に応じた運動の工夫などを伝え合えるために、学習形態(ペア・グループ)の工夫や話し合う内容の工夫を行う。

かかわり合いを充実させるために、グループ活動のために必要なことを児童に考えさせ、安心して活動できる雰囲気を作り出す。友達のよい動きを見つけて相手に伝えたり、教え合ったりしている児童やグループを全体の場で褒めていく。

用具を操作することが得意な児童が、苦手な児童に補助をしやすくするために、ペアやグループ編成の仕方を工夫するなど配慮をする。

楽しく体を動かすことができることに気付かせるために、短縄など身近にある用具でも使い方を工夫する。また、体の柔らかさや巧みな動きをつくり、児童相互のかかわり合う場を作っていくために、スモールステップで用具を操作させる。

2 本単元の目標

- (1) 体ほぐし運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間とかかわり合ったりすることができるようにする。体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動きを高めるための運動をすることができるようにする。【知識及び運動】
- (2) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自分の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をし、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

3 学習に即した評価規準

知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体力を高める運動では、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高める運動のねらいに合った動きができる。	体ほぐしの運動のねらいを知るとともに、ねらいに応じた運動の行い方を選んでいる。体力を高める運動のねらいや行い方を知るとともに、自分の体力に合った運動の行い方を選んでいる。	体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、自分の体力に応じて体力を高めたりすることができるよう、体づくり運動に進んで取り組もうとしている。約束を守り、仲間と助け合って運動をしようとしている。用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。

本単元は、学習指導要領等に関する移行期間中に、新学習指導要領による指導を先行して行う際の評価基準を設定しています。評定については、現行学習指導要領の下の評価基準に基づいて行います。

4 本時の展開

(1) 本時の目標

どのようなポイントを意識して運動を行うと、体の動きが高まるのかを見付け、運動の行い方を工夫することができるようにする。 【思考力,判断力,表現力等】

(2) 準備物

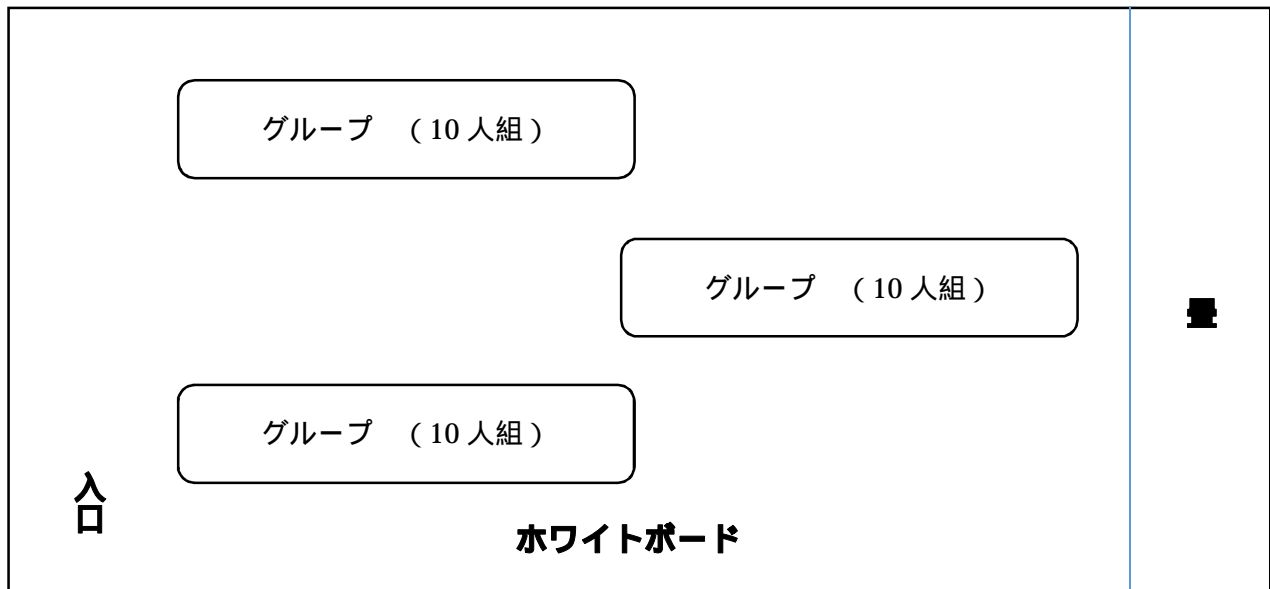
短縄、なわとび、学習カード、筆記用具

(3) 学習展開

学 習 活 動	指導上の留意事項 重点的指導法 努力を要する児童への手立て	評価規準 (評価方法)
<p>1 学習の準備をする。(8分) 短縄遊びをする。 ・ バランス ・ 力比べ ・ タイミング</p> <p>2 学習の進め方と学習課題の確認をする。(2分)</p>	<p>・ 体のいろいろな部位を意識し、動かすことができるようにする。 短縄を使い身近にある用具で楽しく体を動かすことができることに気付かせる。 一斉 一人 ペアで活動し、児童同士がかかわる場を設定する。 協力が必要な運動を仕組み、仲間と運動するよさが実感できる言葉がけを行う。</p>	
<p>短縄を使った運動の「動きのポイント」を見付けよう！</p>		
<p>3 グループに分かれて、運動をする。(15分) 運動 を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>縄役の二人が床を這うように操作して向かってくる短縄をペアで跳び越すことを繰り返す運動</p> <p>ポイントを確認し、練習する。 ・ 縄を動かす人の手と縄を目で確認 ・ つま先でジャンプ ・ 一定のリズム 運動 を行う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>縄役の二人が縄を回しながら向かってくる短縄をペアで跳び抜けることを繰り返す運動</p> <p>ポイントを確認し、練習する。 ・ 縄を動かす人の手と縄を目で確認 ・ 縄が床に着いた時に、入る。 ・ ペアの友達と掛け声をかける。 ・ 同じリズムで縄を回す。</p> </div> <p>4 グループで工夫して運動をする。(10分)</p>	<p>ICT 機器を活用して、動き方を確認させる。 ・ 10人組で運動 , 運動 の順番に行う。 <運動 > 体の動かし方のポイントを見付け、児童同士で教え合う場を設定する。 グループで、運動が苦手な子ファーストのための練習をする。(一人跳び、印の上ジャンプ等) ・ 縄の動きに合わせて跳ぶ経験を重ねイメージをつかませる。 <運動 > ・ 運動 と運動 の違いを確認する。 運動 の体の動かし方のポイントを見付け、児童同士で教え合う場を設定する。 ・ タイミングに合わせた声掛け ・ 一緒に跳ぶなどのサポート 運動の苦手な子にリズムをつかませる方法である、リズムに合わせた手拍子や口頭での拍取りを紹介する。 意欲的に取り組めない児童のために、自己の課題を仲間に伝え、仲間からの助言を受けたり、仲間の行い方の真似をしたりすることができるように、ペアやグループの編成の仕方を工夫する。 ・ 運動 , 運動 に用具・姿勢・人数・方向・リズムの工夫をした運動を掲示し、その中から、自分たちで選んで組み合わせることで運動を工夫させる。 体の動かし方のポイントを見付け、児童同士で教え合う場を設定する。</p>	<p>自分の体力にあった運動の行い方を工夫することができる。 (行動観察・学習カード)</p>
<p>5 本時のまとめを行う。(5分) 本時のまとめを行う。 学習カードの記入をする。</p>	<p>・ 本時の学習で、工夫したことやわかったこと、できるようになったことなどの振り返りを書かせる。</p>	
<p>6 まとめ運動を行う。(5分) 場の片付けを行う。</p>	<p>・ 本時で行った運動の中から、自分に合った運動、または、さらに工夫した運動を自由に行わせ、次の時間につなげる視点で観察する。 ・ 安全に気を付けながら、グループで協力して片付けるよう声かけを行う。</p>	

5 場の設定

運動



6 板書計画

9/27 たのみん ミライ プロジェクト! ~運動が苦手な子ファーストに挑戦だ!~

課題 短縄を使った運動の「動きのポイント」を見付けよう!

ポイント

- ・縄を動かす人の手と縄を目で確認
- ・つま先ジャンプ
- ・一定のリズム

- ・縄が床に着いた時に!
- ・ペアの友達と掛け声
- ・縄を回す人は、同じリズムで!

工夫の視点

用具

人数

姿勢

リズム

方向

まとめ・振り返り

タイミングが合うように「目」「つま先」
友達と声を合わせて
友達と工夫すると、運動が楽しい!
運動のポイントで、難しい動きができた。

